

# 民主青年新聞

DEMOCRATIC YOUTH NEWSPAPER

みどころ

学生新歓論文

4~6面

東アジアを戦争の心配のない地域へ ASEANの努力に学ぶ 8~11面

▶ ホームページ www.dylj.or.jp ▶ Eメール minsin@dylj.or.jp

# 原発との共存は不可能

# 能登半島地震から考える

1月1日に発生した能登半島地震では志賀原発がある石川県志賀町でも震度7を記録しました。志賀原発は今回の地震を受けて、電源設備などへのトラブルが相次いで起きたほか、災害対応の困難さが浮き彫りになりました。地震大国日本で原発を動かす危険性に関して、また、政治が果たすべき役割について、日本共産党の原発・気候変動・エネルギー問題対策委員会事務局長の藤野保史さんへ取材を行いました。また、街頭の青年にも地震と原発についてどう考えているか取材しました。(文中の青年は仮名、栗山さつき記者)



## 不安の声相次ぐ

今回の地震を受けて街頭の青年からも不安が出されています。「10年ほど前の東日本大震災でも原発の放射能漏れがあったので不安」と答えた青年(会社員、22)は、今回の地震で志賀原発が多くのトラブルを起こしていることについて「事故が起きると元に戻すのは難しいと思う。放射能が自分の体にも影響を

与えるのか分からないことでも不安」と話します。志賀原発の付近にある断層を昨年北陸電力側が「活断層ではない」との見解を示し、原子力規制庁がこの主張を承認したことについて、「原発の安全にも関わることなのでそういう問題

## 志賀原発で何が起きていた？

## 地震発生後に志賀原発で起きたトラブル

時間	北陸電力などの発表	志賀原発では…
1日16:10	志賀町で震度7の揺れ	原子炉建屋地下2階で震度5弱相当
16:18		【1号機】変圧器で警報発生
16:43		【1号機】カメラで燃料プール波打ち水の飛散を確認(約95リットル)
16:45	2号機 現場で焦げ臭いと感じる当直長 火災の可能性と119番通報	【2号機】変圧器油漏れ→消化設備起動
17:29		【2号機】焦げ臭いのは油の臭いで火災の発生なしと判断
17:42		【1号機】変圧器からの油漏れ 現地で確認
18:30	2号機 火災でない消防に連絡	
19:00~	林官房長官会見 「変圧器で火災 消火済み」	
19:48		【2号機】変圧器からの油漏れ確認
21:30		【2号機】油漏れ 停止を確認(3500リットルと推定) 後に訂正
22:20		【1号機】変圧器からの油漏れ 停止確認(3600リットルと推定)
22:30		【2号機】燃料プール 水漏れ確認(約326リットル)
2日9:30		【防潮壁】数センチの傾き確認
11:00	最初の記者会見 「水位に有意な変化なし」と発表	
14:30		【防潮壁】基礎の一部数センチ沈下確認
21:00	「約3メートル水位上昇確認」と訂正連絡	
3日5:50		発電所内の道路 数センチの段差確認
4日11:50		物場場でコンクリート沈下確認 最大約35センチの段差
5日17:00	2度目の記者会見 2号機変圧器の油漏れ(1万9800リットル) 当初推定の5倍以上に訂正	

「NHK NEWS WEB」(1月22日)を基に作成

志賀原発では今、何が起きていたのでしょうか。日誌だけの大地震が起きる。また、志賀原発が立地している志賀町では最大震度である7を記録している。原発周辺では何が起きていたのでしょうか。能登半島地震を受けて明らかになったのは、原発付近の揺れと地盤の問題です。北陸電力は当初の想定では最大で断層が95メートル動いたと想定していたが、今回は150メートル動いています。今回の地震で動いたとき、断層は政府が「将来大地震を起す可能性がある」として注目している主要活断層ではありません。志賀原発では、地震によって4階ほど隆起したり、1階ほど横にずれたりしている場所もあります。原発は地盤が強くあることが前提の設計です。今回のような地盤の隆起や移動が激しい場合はそういった前提も崩れます。原発内部ではトラブルが相次いだとの報道があります。主としてどのようなトラブルが起きていたのでしょうか。今回の地震を受けて、この志賀原発では外部電源の一部喪失など、さまざまなトラブルが起きています。特に変圧器から2万リットルを超える油漏れを起したことは問題だと思われています。2007年の新潟中越沖地震でも同様の事故が起きて、その際は、柏崎刈羽原発3号機で火災が発生し、当時、世界で初めて原発敷地内で火災が起きたこともあり、大問題となりました。今回の地震を受けて、その後の東京電力の事故調査の報告書で、火災の原因として、油漏れを起したことが挙げられています。今回の地震では志賀原発から放射性物質が放出されたという事故には至りませんでした。また、今回の地震による土砂崩れや道路の寸断のほか、能登半島の海岸では85